

## 沖縄が狙う記録

数年前から沖縄が密かに狙っている記録がある。観光客数の「ハワイ超え」である。

ハワイ州観光局が2017年のハワイ観光客の「速報値」を発表し、沖縄県内は官民挙げて驚き、喜びにわいた。ハワイが938万3千人で、沖縄が939万6千人と、約1万3千人差で初めてハワイを上回ったからだ。

この「ハワイ超え」は、ハワイ州観光局が「確定値」を940万4千人に上方修正したために、幻に終わった。

ハワイ超えに大きな期待がかかるのは、ハワイが沖縄観光のお手本であるからだ。美しい海と温暖な気候が共通する沖縄は「東洋のハワイ」を目指した。沖縄が日本に復帰する5年前の1967年、沖縄のホテル業者がハワイを視察した。当時、観光客数は沖縄が6万8千人だったのに対し、ハワイは100万人と圧倒的な差があった。

この視察を契機に、ホテル関係者が組合をつくり、ビーチやホテルの環境整備を始める。ヤシの木を植え、アロハシャツを模した「おきなわシャツ」をつくった。エイサーや沖縄そばなど独自のイメージ作戦を展開し、リゾート地形成を図っていく。

長くあこがれだった存在だったハワイに数の上では迫ったことは沖縄観光の自信にもなっている。

ただ、遠く及ばないのは観光収入だ。観光客1人当たりの滞在中消費額はハワイが約19万5千円(18年)、沖縄は7万2853円(17年)で、2・6倍も引き離されている。理由は滞在日数の差だ。欧米圏の人が多いハワイは平均滞在日数が8・9日、沖縄は3・7日と差は大きい。

今後はさまざまな観光メニューを提供して滞在日数を伸ばす工夫が必要だ。これは全国各地の観光地にも言えることだろう。

さて18年。ハワイが995万4千人、沖縄が984万2千人でハワイ超えは果たせなかった。沖縄の挑戦はまだ続く。

琉球新報 経済部長 論説委員 島洋子



外国人観光客らでにぎわう那覇市の国際通り